

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-E03N

申請日	2020/2/21	承認日	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	承認者	印

FP(術前Neoadjuvant) 療法	病名	食道癌	外科	提出医	Dr
<b>対象</b>	切除可能なStage II ~ III(T4を除く)食道癌 術前化学療法(Neoadjuvant)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)													
			1	5	10	15	20	25	30							
シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	div	○													
フルオロウラシル	800mg/m <sup>2</sup> /day	持続点滴	○	○	○	○	○									

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース  
2コースまで

【投与処方例(前投薬など)】必ず、CVポート・カテを留置。末梢からの点滴禁止！

\*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、シスプラチンの投与量を変更すること

Ccr46~60mL/min 75%Dose

Ccr31~45mL/min 50%Dose

Ccr30以下は禁忌。

Day1~5は、体重測定を実施。開始時より1日で0.5kg増加した際は、医師に連絡。必要に応じて検査、利尿剤を追加。

腎機能の評価のためにDay1以外にDay4、8に血液検査を実施し、必要に応じてハイドレーションを追加(採血は主治医判断)

※シスプラチン投与時は、メインの5-FUは止め、終了後再開する。

※5-FU24時間持続点滴について・・・ポンプの流量誤差を考慮し、適宜速度を調整する。

Y側管【水色】 day1~5

- ① Y側管【水色】生理食塩液1000mL+フルオロウラシル800mg/m<sup>2</sup> /div(24時間持続点滴)

## 側管 day1

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】ラクテック500mL /div 3時間
- ③ メイン【赤-2】生理食塩液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート12mg /div 30分
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液50mL / 5分
- ⑤ メイン【赤-4】ソリタT1 500mL+硫酸マグネシウム8mL(=8mEq) /div 1時間
- ⑥ メイン【赤-5】マンニトールS注射液 300mL /div 全開(15分)
- ⑦ メイン【赤-6】生理食塩液500mL+シスプラチン /div 2時間
- ⑧ メイン【白-1】ラクテック500mL /div 3時間
- ⑨ 【コネクタ1】プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ⑩ メイン【白-2】ラクテック500mL /div 3時間

## メイン day2.3.4

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液100mL+デキサート8mg+プリンペラン10mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】ラクテック500mL /div 3時間
- ④ メイン【赤-3】ヴィーンD 500mL /div 3時間
- ⑤ 【コネクタ1】プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ⑥ メイン【赤-4】ラクテック500mL /div 3時間
- ⑦ メインの生理食塩液をすべて流す

## メイン day5

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤】ラクテック500mL /div 3時間
- ③ 【コネクタ1】プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ④ メインの生理食塩液をすべて流す

### 制吐剤セット処方⑥

DMがない場合

Day1～4 オランザピン5mg 1錠(分1 夕食後)

DMがある場合はオランザピン禁忌、下記の代替薬

Day1～4 ワイパックス0.5mg 2錠(分2 朝・夕食後)

コントミン12.5mg 1錠(吃逆時) 10回分 1日3回内服可

参考資料:JCOG9907試験:Ann Surg Oncol 2012; 19 : 68

当院患者治療目的以外は  
使用不可